

デジタル変革（DX）への取り組みの強化

- 現代の技術進展、特にAI、ビッグデータの分析、ChatGPTのような先進ツールによって社会は大きく変化しています。今後、デジタル技術を活用したビジネスの需要が高まると考えられます。「2025年の崖」にもある通り、デジタル技術の進展や社会変化に対応できなければ弊社存続の危機に直面する可能性があります。弊社ではこのような社会の変化に柔軟に対応し、企業の存続および成長を目指すため、DXへの取り組みを進めます。デジタル技術を最大限に活用して、業務の効率化、生産性の向上、そして競争力の強化を図ります。顧客のニーズに応じた新しい価値やビジネスモデルを創出し、市場の変化に対応することを目指します。

2023年12月13日

サイテックアイ株式会社

代表取締役 大澤佳加

DX推進における具体的な方針

- 業務プロセスと新ビジネスモデルの開発: デジタル技術を駆使して、従来の手作業に頼る業務をデジタル化し、これによって生まれる時間を新しいサービスの開発や顧客対応に充てます。デジタル化を通じて得られた新しい知見を基に、新たなビジネスモデルを構築します。
- DX人材の育成: 社内でのスキル・ノウハウ共有、スキルを可視化して人材育成に活用します。

DX推進における戦略的アプローチ

- デジタル技術の習得と応用: RPAやBIツール、ChatGPTなどの最新技術を学び、自社業務の効率化を図るとともにDX推進へのノウハウを蓄積します。
- 新たなビジネスモデルの創出: 地方創生における課題を、BIやAIの力で可視化し、それを改善するための戦略を立てます。こうした改善策を外部にも提供し、新たなビジネスチャンスを生み出します。

- DX人材の育成:蓄積したスキルやノウハウを定期会議にて共有します。また社内研修を実施し、スキルを可視化します。それを基に社内のDX人材育成に活用します。

DX推進体制の確立

- ツールの導入: RPAやBIツール、スケジュール管理ツール、ChatGPTを導入し、業務の効率化を推進します。
- DX人材育成: 定期会議を実施し、培ってきたスキル・ノウハウをまとめ、社内研修に活用します。

DX推進のための環境整備

- 業務効率化促進
業務プロセス改善のため、RPA・BI・ChatGPTを導入
情報共有・スケジュール管理としてTeamsを活用
- 勤務体制改革
コロナといった社会情勢に対応するため、ネットワーク環境や社内体制を整える

DX推進指標

- 蓄積されたノウハウの件数
- DX人材育成の定期会議でのスキル・ノウハウ件数

サイバーセキュリティへの対応

- サイバーセキュリティポリシーの策定と実施: サイバーセキュリティに対する統一された取り組みを進めるためのポリシーを策定し、従業員に周知します。ファイアウォールやアンチウイルスソフトの導入、セキュリティ監査の定期実施などを通じて、セキュリティ体制を強化します。さらに、従業員に対するサイバーセキュリティ教育を実施し、意識の向上を図ります。インシデント対応体制を整備し、万が一の事態に迅速かつ適切に対処できるようにします。また、サイバーセキュリティの脅威は絶えず進化しているため、定

期的にポリシーや対策を見直し、最新の技術や手法に適応することを重視します。

この中期経営計画は、進化するデジタル環境に対応し、組織の成長と競争力の強化を目指しています。